



# Via Latina 22

2020年4月 289号

総本部よりのお知らせ－マリア会

**声明：**しっかり見て、自分たちを備えておきましょう –  
不安な時期の修道者として



アビジャン 全ての恵みの母である  
アフリカの聖母マリアの巡礼地

最近の日々に、私たちはイエスと共にエルザレムに向けて歩き、イエスの受難に同行する準備をしています。そして12日のうちに、私たちは命（いのち）の祝祭であり、また全ての死を克服した主イエスの決定的な勝利の祝祭である復活祭を祝います。その後50日間、毎日この勝利を祝い、こうしてこの勝利は1年の残りの月日と人類全体を照らしてくれるでしょう。

今私たちが生きている日々のため、何と素晴らしいメッセージでしょう！

私たちマリア会修道者は、これまでになかったような今の時を、キリストとの深い結びつきの中で生きています。キリストの言葉、典礼の中で、そして世界の人々の生活において観想し、またそこでキリストに耳を傾けましょう。真に重要なことに集中しましょう。

今この時期に私たちに負わされている孤独、弱さ、苦しみから逃げないようにしましょう。この状況から自分たちを覆い隠さないようにしましょう。このような状況は、キリストが現在のような日々におられ、ご自分と共に私たちがいることを望んでおられる場なのです。キリストはパンデミックのために現在の状況で苦しんでいる全ての人々と共におられますが、また同じ様に、自分たちが置かれた状況の故に一年中苦しんでいる人々と共にもおられます。このようなキリストの現存は、もし私たちがそれを認めるなら、現在も将来に於いても、私たちの兄弟姉妹関係が表現すべき本質的な形です。イエスは私たちの目の前にあるこのような状況の中におられますし、私たちは今そこにおられるイエスを発見します。今も将来に向けても、私たちはそこにイエスを再発見します。

ですから、私たちの希望を失わせ、また特に近年私たちのものであるべき極めて重要な奉仕活動から私たちの注意をそらす、行き過ぎた絶え間ない情報の流れから私たち自身を自由にしましょう。

キリストと共に、深い同情と希望に満たされて、全世界のため、身近な人たちのため、市民の皆さんのための、真の仲介者になりましょう。祈りを通して仲介者になりましょう。祈りに十分な時間を捧げましょう。非常に多くの人たちがミサに与れなくなっているので、ミサ聖祭を通して仲介者になりましょう。キリスト者として、また修道者としての召命がそれを求めていますので、今だけではなく、世界全体の今の時期を生きましょう。

非常に多くの人たちの極度の不安と苦しみを認識しましょう。しかしまた同時に、生まれつつある多くの寛大さの兆候、すなわち、様々な出来事にもかかわらず、至る所で見られる勝利を得ているいのちも見逃さないようにしましょう。

私たちは生まれようとしている新たな世界を見つめましょう。今はかつてないほど多くの人たちの心がそれを熱望しており、そこには、しばしば目に見えない形で、福音の種が既に芽生えています。新しい世界を成長させるために活動する準備をしましょう。それは後で希望のない単なる“変わり映えしない日常生活”へと立ち戻らないためです。願わくば、現在の苦しみが実りのないものにならないように、また、この新たな世界の誕生に貢献するものでありますように。願わくば、私たちの今の活動がこの新しい世界をもたらすために既に奉仕していますように。

見張り番となりましょう。仲介者となりましょう。そして、新しい世界の誕生に必要なこ

との謙遜で、しかし断固とした担い手となるよう自らを準備しましょう。“見よ、新しいことをわたしは行う：今やそれは芽生えている、あなたたちはそれを悟らないのか。”(イザヤ 43・19)

---

## 総本部よりのお知らせ

世界の殆どの地域がコロナウイルスによる世界的パンデミックに直面しているのでVia Latina 22共同体は皆さんに心からの兄弟的挨拶を送り、マリア会とマリアニスト家族のすべての会員、そして私たちが係る人々の安全と健康のため熱いお祈りを約束します。私たちは特に愛する人たちから離れて近頃の日々に直面しなければならない高齢者の皆さんのため、また献身的な仕事をしている医療従事者の皆さんと、この自然災害のさ中に安全と規律を保つために働いている人たちのために祈ります。そして、国々と地方の指導者たちが共通善と全ての生命の尊重に向けてベストを尽くす決断をするうえで光を受けるよう祈りましょう。私たちがマリアニストとしてその使命に深く参与している、全ての恵みの取り次ぎ手である恵みに満ちた聖母マリアの仲介を通して、私たちはこれら全てを毎日の祈りを通して神に委ねます。



パンデミックが終息するように  
教皇様と祈るVia Latinaの両共同体のメンバーと職員

ここVia Latinaでは、総本部と国際神学校の共同体は、厳しい衛生規律と現在求められている“社会的距離”にうまく対応するために、適宜、一緒になって行動しています。建物からの外出は非常事態を除いて厳しく制限されていますが、私たちはうまく対応しています。神学生はオンライン接続を利用して勉強を継続していますし、総本部は、建物の中に制限されているとはいえ、仕事をしています。私たちはマリア会の行政単位と密接な連携を取り合っており、絶え間なく受け取っている挨拶や報告に感謝します。イタリアは特にこのパンデミックの中心なので、ローマ市はこのところ非常に奇妙な場所になっています。永遠の都の喧騒と動きは消え去り、“永遠”の沈黙に取って代わられました。新たな非常事態規律の適用は大変厳しいものです。

私たちはこの状況がどれほど続くかまだ分かりませんが、ここイタリアと全世界でもやが

て過ぎ去ることを祈っています。現在のところ、総本部は次の数週間の旅行を中止しました。私たちは前に既に計画されたいくつかの会議をオンラインで行っていますが、一方、次の7月に予定されているHorizons 2020や財務会議のような他の会議は、計画通り行われるかどうか今検討中です。

それと同時に、私たちは思いと祈りの中で皆さんすべての身近にいる事を忘れないください。この四旬節の残りの数週間、私たち皆が直面している危機と相まって、キリストの受難、キリストの母の揺らぐことのない苦しみ、および、全ての悪に打ち勝つ神の愛の最終的な勝利にもっと深く入り込むようにしましょう。どうか、私たちの抱えている様々な困難にもかかわらず、今年の復活祭にあたって、キリストの復活が私たちに神の勝利を保証している、という視点を私たちが失いませんように。

---

## トーゴの地区長の任命

トーゴ地区メンバーの意見聴取をした後、2020年3月20日の会議で、総長評議員会の支持を得て、総長はJonas Kaptcha師を次のトーゴ地区長に任命しました。Jonas師はトーゴ地区とマリア会での兄弟的奉仕の要請を丁重に受け入れました。



私たちは彼の寛大な返答とトーゴの修道者が彼に示した信頼に感謝します。Jonas師は2020年9月12日に彼の5年間の第一期の任務を始めます。就任前の数か月間、彼はトーゴの新たな評議会メンバーを識別し、任命します。



私たちはまた第2期を終えるIgnace Pagnan師と彼の評議員会に対し、その長い奉仕活動について感謝します。トーゴ地区は引き続き豊かなカリスマ的活力と成長を示し続けています。私たちは彼らのリーダーシップと、地区メンバーと彼らの宣教への献身とに感謝します。

---

## 総長評議員会のコンゴ特別地区を訪問

総長評議員会4名のメンバーはフランス管区の一部であるコンゴ特別地区の16日間の訪問を終えました。この訪問は、前週のコートジボアール従属地区訪問の直後、数週間行われました。コンゴ特別地区は2つの異なる国、コンゴ共和国（ブラザビル・コンゴ）とコンゴ民主共和国（キンシャサ・コンゴ）に広がっています。この特別地区は5つの共同体を有し、その3つはコンゴブラザビルに、2つはコンゴキンシャサに在ります。30名ばかりの会員の中、幾人かは他の国で勉学を続けています。彼らの宣教活動には1つの大きな学校、1つの小教区、そして1つの診療所が含まれており、いずれもブラザビルにあります。またブラザビルの郊外



には、ボカには農業センターと中学校があります。同様にキンシャサには技術訓練所と霊性センターがあります。キンシャサには前修練院に幾人かの若い志願者がおり、コートジボアールのアビジャンには数人の学生修道者と1人の修練者がいます。



キンシャサのマリアニスト家族にプレゼントされた  
シャツを披露している総長評議員たち

この特別地区はフランス管区に依存していますが、自分たちの力でその生活、宣教活動、そして財政を運営する能力を少しずつ上げながら、この地区に更なる力と成熟を加える道においてもっと成長するよう努めています。マリア会が奉仕活動をしているこの地域は、多くのことを必要としており、そして人々は私たち修道者の献身に感謝しています。またコンゴー川の両サイドに存在する信徒マリアニスト共同体も活発に活動しています。

総長評議員会は彼らが受けた歓迎と、そこで参加出来た兄弟的対話に関して感謝します。コンゴ特別地区の兄弟たちを私たちの祈りの中に覚えていきましょう。



ブラザビル セント・リタ保育園の児童たちと話すMagnan士

## 3月25日 主のお告げの祝日 マリアニスト家族の保護の祝日

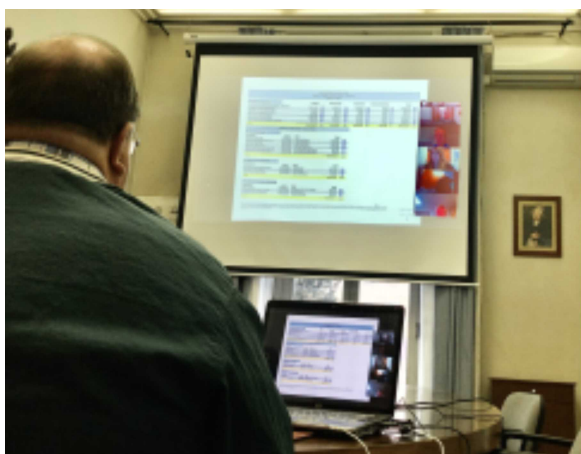


3月25日に総本部及び神学校両共同体がミサ聖祭を行う

コロナウイルス危機のさ中、安全と健康を守るために取られた措置によって私たちの通常の合同式典はできなくなりましたが、それでもVL22の共同体は、マリアニスト家族全ての人々と分かち合うマリニスト召命に向けた特別な注意深さと感謝を持って、神のお告げの祝日をお祝いしました。大きなチャペルでのミサ聖祭の間（適切な“社会的距離”を保つようにして！）、私たちのカリスマ家族に感謝しながら祈り、すべての人のためマリアの保護を懇願しました。

---

## 総本部財務委員会の会議



Zoomによる財務委員会の会議

ニューヨークでの年次会議の中止に伴い、総本部財務委員会は3月27日、金曜日にオンラインでこの会議をすることができました。このオンライン会議によって、5つの都市と3つの大陸のメンバーが一緒に集いました。

この会議の間に、出席メンバーは総本部の投資資金に関して検討し、財務局長に助言を行いました。また、総本部財務局に関連する他の事案についても検討し、助言を行いました。私たちは彼らの専門的洞察と助言に感謝します。

## 最近の総本部通信

- 訃報：4-5号
- 3月13日：マリアニスト家族の保護の祝日についてのメッセージ、3か国語で全マリア会員にマリアニスト家族世界評議会から送付された
- 3月24日：総長回章第1号：「私たちの信仰、私たちのイエス・キリストへの信仰はどこにあるのか？」(Where is Our Faith, Our Faith in Jesus Christ?)  
3か国語で全マリア会員にマリア会総長アンドレ・ヨゼフ・フェティス師から送られた



2020年復活祭の機会に、  
Via Latina 22 は、復活された主が全世界の全ての人たちに平和をもたらしてくださいと祈りをもって、心からの挨拶を読者の皆様に申し上げます。